

「事業名：浪江町の復興をフォローアップする地域人材育成のための保健・環境・防災教育プログラム」 令和3年度補助事業の実績・成果

弘前大学 連携市町村：浪江町

連携市町村との協定締結日：平成23年9月29日 現地拠点：双葉郡浪江町役場健康保険課内

事業のポイント

- ★弘前大学浪江町復興支援プロジェクトWGが中心となり、弘前大学浪江町復興支援室とともに浪江町を教育実践のフィールドとした事業を展開
- ★保健科学および理工学系の学部・大学院生に対するフィールド活用型アクティブ・ラーニングプログラムの実践
- ★帰還後の住民や町職員のためのリカレント教育プログラムの実践と直接対話によるリスクコミュニケーションの実践
- ★フィールドワークの実践を通じて学んだ知見を地域の子供たちや住民に直接情報発信する「課題解決型情報発信の実践」

今年度の活動実績

- 弘前大学学部生および大学院生に対する人材育成
 - 1.看護学生のための教育プログラム→町職員への健康相談、道の駅での健康相談を実施
 - 2.放射線防護を学ぶ学生のための教育プログラム→帰還困難区域で現場実習を実施
 - 3.放射線生物影響を学ぶ学生のための教育プログラム→調査地点の探査と基礎データ取得を実施
 - 4.環境防災を学ぶ学生のための教育プログラム→伝承館などの震災遺構を活用したフィールド調査を実施
 - 5.環境放射能を学ぶ学生のための教育プログラム→請戸川調査実習と廃炉記念館等の視察を実施
- 放射線リスクコミュニケーションの体験型アクティブ・ラーニングと地域の人材育成
 - 1.町民を対象とした放射線リテラシー醸成の教育プログラム
 - 「食」をテーマに放射線リスクコミュニケーションを実施
 - 2.こども園職員自身が放射線リスクコミュニケーションを実践するための教育プログラム
 - 浪江にじいるこども園で放射線計測実習を実施



今年度の成果

- 専門的人材の育成（学部生・大学院生）
地域の健康ニーズを考える人材、環境モニタリングとデータ解析と伝達に対応できる人材、なみえの自然を学んだ人材、自然災害を観測できる人材、浪江の自然と環境放射能調査法を学んだ人材、を育成することができた
- 地域人材の育成（浪江町民、周辺住民）
放射線を正しく理解し、自ら発信できる地域人材を育成できるプログラムの土台ができた。
- 次世代人材の育成（児童・生徒）→ 放射線に関する授業等で育成基盤を構築した。

	プログラム 参加人数 (のべ)
教職員	130名
学生	88名
社会人	169名